

(様式 3-2)

6 題材の指導内容と評価の計画

題材「 」 時間 指導項目：B()ア,イ

「小題材」 指導内容	時 数	時 間	具体の評価規準			
			生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	生活や技術についての 知識・理解
(1)	1	1	している。 < Aとする状況 > 自主的に発言している。 < Cの状況の生徒への手立て >			
(1)	3	1				
		2				を理解している。 < Aとする状況 > 具体的に説明できる。 < Cの状況の生徒への手立て > するために する。 < 評価方法 > 観察
(1)						

* 印は、学習の習得をどんな生活に活用したいのか、結びつくのか、「教師の思い」の主な内容を記入する。表現の言葉尻は各地区で統一。

(「 する力に結びつく」、「 できる生徒」など)

* 時間毎に ~ まで横に番号を付け、学習過程の具体の評価規準と合わせる。

評価規準を記入。

Aとする状況，判定の根拠を，< Aとする状況 > として記入。

Cとなる生徒への手立てを記入。